

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	HOPE RISE				公表日	2026年2月12日		
					利用児童数	2名	回収数	1名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		目的ごとに部屋を区切って使用しており、十分なスペースは確保できるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		ご利用者様の特性を踏まえ、適切な支援を行える人員を今後も配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		オープンからまだ間もないですが、日々スタッフ同士話し合い、よりよい環境づくりを目指しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		日々の整理整頓、清楚を心掛け、過ごしやすい環境づくりを行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		個々の特性を踏まえ、研修参加、ミーティングを適宜行い専門性を高める努力を今後もしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		プログラムを踏まえ、今何が出来るか、どうしたらより適切に支援できるかを研鑽していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		保護者様のニーズに寄り添い、お子さまに必要な支援をよりリアルに支援計画に取り入れていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		現在、移行支援を取り入れた支援計画を中心にこなっており、保護者様をはじめお子さまのニーズに合った内容で支援を提供しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		児童発達支援計画に沿った支援内容を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		固定して継続していく内容のプログラムは保持しつつ、毎月新しいプログラムをスタッフ間で話し合い取り入れていきます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	0	0		今後の課題です。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		ご契約時にご説明していますが、質問がある場合はいつでもお応えできるよう努めています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		今後も変更時には保護者様へのご説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	0	0		今後の課題です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		送迎時には支援にかかわったスタッフが必ず、当日の様子や健康面など伝えさせてもらい、保護者様からは情報の提供をいただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		今後も困りごとがあった時や、状況に合わせて行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		自分事ととらえ、かつ俯瞰してとらえられるよう、私たちに何が出来るか常に意識を高く持ち続けます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	0		今後の課題です。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	今後も困った時には相談しやすい環境、体制を整え、即対応できるよう努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	お子さまとは、日々の支援を通しコミュニケーションを大切にしています。保護者様にはLINEを使用し情報の伝達、共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	毎月の保護者様へのおたよりを通して、行事予定や連絡事項をお伝えし、またLINEも使用しています。自己評価はHPにて公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	個人情報の取り扱いには十分に配慮し、スタッフには定期的に周知徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	定期的に研修を施し、活動にも取り入れ、お子さまを交えた周知活動を日ごろから心掛けるよう体制を整えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	定期的に研修を実施し、活動にも取り入れ、お子さまを交えた周知活動を日ごろから心掛けるよう体制を整えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	契約時にもご説明し、随時お子さまの安全を第一に踏まえ支援に携わっています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	小さな出来事でも状況をご報告し、安心してご利用いただけるよう努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	今後も安心して通所いただけるよう環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	事業所の雰囲気づくりを更に整え、楽しんで通所していただけるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	常に俯瞰してとらえられるよう、体制を整えレベルアップをはかります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		HOPE RISE		公表日		2026年2月12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1			支援室は2階にあるため、階段を使用する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	目的により使い分けしている。 支援室は広々としており、のびのびと過ごすことが出来る。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	定期的の問題点を洗い出し、改善につなげている。		意見を出すのが、個人によりばらつきがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			立ち上がったばかりで外部評価までには至っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	積極的に外部の研修や事業所内でも動画を観るなど参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	特定のスタッフが担当するが、意見を出し合っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎月新しいプログラムを取り入れるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子さまの状況に合わせて、急遽個別に変更することもあり、状況に応じて判断している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	連携がうまく取れているとは言えない。	毎回、申し送りや活動の内容、役割など話し合えるよう、個々がもっと積極的になる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日の利用者の様子など情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	気づきがあった時など記録をとる事と共に、周知し話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	特に保育園での様子や支援後のご家庭での様子などをお聞きするなど連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	就学に向けた支援内容となっており、ご家庭や保育所での様子もお聞きし、情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4	現在までにその機会はまだない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	児童発達支援センターとは連携を図っているが、特にアドバイスを受けたことはまだない。	今後は必要に応じてアドバイスをいただくと良い。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	まだ行ったことがない。	スタッフの増員をしないと外部との接触は、現時点では難しい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時や支援後にSNSを利用し伝えている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	まだ行ったことがない。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明をしている。		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	家族の意向に沿って作成し、確認している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	必ずご説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	2	定期的ではないが、行っている。	今後定期的に行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	開催するまでには至っていない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	対応できる範囲のことはしている。	無理な申し入れもあり、すべてを受けることはできないと感じることもある。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	HPの更新など、忙しく手が付けられていない。	行事など写真を交えてどんなことに取り組んでいるか、周知発信していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	周知徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	意思疎通できている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	行えていない。	ゆとりがない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	活動に取り入れている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	活動に取り入れている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	ご利用児に、保護者様より確認してファイルしている。	定期的に振り返りが必要と感じる。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食物アレルギーのあるお子さまにはおやつなどで摂取しないよう気を付けている。医師の指示書はない。	表などにして可視化できるよう工夫し貼りだす。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	危険と感じることはすぐに改善し、安全に過ごせるよう配慮している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	必ずしも家族へ周知できているとは言えない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	危険と感じることはすぐに改善し、安全に過ごせるよう配慮している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修動画を視聴するなど取り組んで意識している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	危険な状況に陥る場合などやむを得ない場合もあることを契約時にも説明し理解を得ている。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HOPE RISE		
○保護者評価実施期間	2026年1月16日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	困り行動などお子さんの表情や行動など様子を直ぐに察知し、対処できるよう努めている。また環境も日々対策を練り、改善に努めている。	来所した際の表情や学校での様子、送迎車での様子など、即職員間で周知し連携が取れている。	職員が皆同じ対応が出来るようにする。
2	放デイのお子さんとも交流でき、就学前から環境に慣れていくことが出来る。	様々な年齢のお子さんと接触し、就学前から困りや悩みを見据えていき、いっしょに取り組んでいく。	自分でスケジュール管理を行えるようにしていく。
3	放デイの部屋も活用し、目的に合わせて使用を分けられる。	個別課題など集中して取り組み、遊びの部屋と区別することで切り替えしやすい環境づくり。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	オープンして間もないので、考えはあっても取り組めていないこともある。	共通認識とレベルアップ。	ミーティングや研修を増やす。
2	個別課題を行うための支援グッズが足りていない。	必要なものを検証し、作成したいが時間が足りない。	ご利用のない時間帯の使い方を工夫する。
3	児童発達支援室が2階にあり階段を使用しないとならない。	賃貸で限界がある。	